

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
 大字金木字朝日山323
 電話 ☎ 2111 内線 240

芦野児童動物園の仲間たち



おつとつと——!!
 (第二保育所運動会)

主な内容

芦野公園が変わる..... 2	} がんばった顔..... 7
衰えぬ太宰人気..... 3	
学校部活動紹介..... 4	} 紙のリサイクル..... 8
一日中笑って笑って..... 5	
老人クラブ連合会が清掃奉仕..... 6	} お知らせ..... 9
	} 金木病院だより..... 10
	} 戸籍の窓..... 10

人口と世帯

	6月末現在	前年同月比
男	6,349人	- 127人
女	6,964人	- 80人
計	13,313人	- 207人
世帯数	3,895	

芦野公園がかわる

地域づくり推進事業

(平成2～4年度・自治省ふるさと創生事業)

◀今年度整備される駅前地区



町では今年度から始まる『地域づくり推進事業』から、芦野公園を今まで以上に集客力があり、かつもっと「遊び」を体験できる公園に脱皮させようという知恵を絞っています。

この計画については、昨年のふるさと創生資金活用アイデア募集を基に市内

関係課担当職員連絡会議、委員会等で協議、検討しているところですが、基本的には公園内の四つのゾーン（芦野公園駅前・太宰橋付近・墓地公園付近・中ノ島地区）に様々な構想をもつていろいろなものを配置・構築するものです。今年度は、芦野公園駅前の町営相

撲場を除く場所を整備するもので、来年度以降馬場から薬師溜池までと、他の三つのゾーンに計画が入る。

駅前の整備については、現在沢池になっている国道三三九号線のカーブ付近から落差を利用して、噴水や中に入って水遊びができる小川などの親水広場、それ

に、季節の花々が常に咲く憩いの場をつくるなどその構想は夢一杯。

付近には自然の湧水や現在は使われていないが掘削した井戸からも水が湧きでており、その「水」の活用もできれば大いに期待したいところである。

これらの整備計画の策定にあたっては、芦野公園の集客対策はもちろんのこと既存施設の場合によっては移転を含めた活用方法、用地のこと。また、薬師溜池の水質保全、環境保護のため、生活雑排水の処理等様々な課題も抱えておりますが、これからの町づくりを考え、当然その対応も急がれているところです。

町では、今年度中に全体整備計画の概要を決定すべく進めているところで、皆さんの考え、アイデアをお気軽に役場企画室までお寄せいただきたいと思っております。

来年の桜まつりからは、今まではちよつと趣の違った芦野公園を散策できるのではないのでしょうか。期待したい。

三上明氏

勲五等双光旭日章受章

三上明氏（金木寺町）が春の叙勲で勲五等双光旭日章を受章、その受章祝賀会が六月十六日中央公民館に町内外から百五十人ほどが参列して行われました。

三上氏は、明治四十一年生まれで今年八十二歳、今なおかくしゃくとして町の発展を考えておられ、教員生活四十三年、赤十字に係して三十八年と大半の人生を人へのまごころの教育と奉仕とにのりやしてきたものです。

祝賀会では、主催者を代表して大橋町長が「今後とも十年といわず二十年も三

十年も町の発展になるようにがんばって協力して欲しい」と述べられ、そのほかたくさんの人達からもお祝いの言葉が述べられた。

その後、かつての教え子やお孫さんから花束の贈呈があつたり、祝宴に入つてからは沢山の方々からお祝いの言葉や握手の手が差しのべられるなど随所に氏の人望を垣間見る祝賀会であつた。

これからも金木町発展のため、いろいろな角度からの助言よろしくお願いいたします。



▶お礼の言葉をのべられる三上明氏

▶ 献花する津島園子さん



衰えぬ太宰人気 小雨まじりの中 第四十二回桜桃忌

郷土金木町が生んだ作家太宰治の四十二回目の『桜桃忌』が小雨まじりで肌寒い六月十七日に行われました。

この日、県内・外から集まった大勢の太宰ファンが芦野公園登仙崎にある太宰文学碑前に集まり、初めに三戸郡名川町のミスさくらんぼ娘二人が名川特産のサクラノボを文学碑に供えたあと、太宰治の長女園子さんと地元で太宰を知る人、それにはるばる東京方面から駆けつけたという若い女性ファン達がつぎつぎに献花された。

引き続き場所を斜陽館に移して『太宰をしのぶ会』が催され、老若男女が遅くまで太宰文学論を語り合っていた。

(金木町教育委員会)



▲手元が真剣

お父さんありがとう “手作りネクタイに愛情こめて”

がんばってるお父さんに世界に一本しかないオリジナルネクタイを贈ろうと六月十二日中央公民館で『手作りネクタイ教室』が開催されました。

この『手作りネクタイ教室』は、六月十七日の『父の日』の前に、自らが心をこめて作ったものを贈るのはどうだろうかと考えた末に、ちょっと変わった手作り教室を開いてみようと思

民館が企画主催したもので当日は十名が受講、八木信子ハンディクラフト協会弘前支部長の指導のもとで、各自が持ちよった様々な模様

の布地の裁断から縫製まで、メモをとりながら熱心に指導をうけていた。みんな出来栄も良く、お父さんにとって忘れられない素敵な六月第三日曜日になったのでは。



さわやかな
心のオアシス 森と湖

●森と湖に親しむ旬間● 7月21～31日



学校部活動紹介

川倉小学校野球部

ぼくたち、川倉小学校野球部員は、六年生十人、五年生八人、四年生五人、三年生三人の合計二十六名で毎日活動しています。

夏は男子が野球、すもう、女子は、ソフトボールをやっている、冬は全員スキー部員となるため野球はできないけれど、サーキットトレーニングなどで体をきたえています。

ぼくたちの先ばいは、去年の県少年野球大会で、優勝しました。ぼくもそのときファーストを守っています。

優勝したときは、とてもうれしかったです。だから、今年も優勝をねらって、練習をがんばっています。練習では、かんとくの近藤先生はもちろんのこと、ほかのお父さん方や、この学校を卒業した先ばいたちも練習に来てくれて、ノックをやったり、ときどき二軍とまぎって練習試合などをやってくれたりして、とてもいい練習ができます。

六月に行なわれた地区の大会では、二回戦で小泊に二対〇で負けて、とてもくやしかったですけれど、練習をがんばってこんどの大会では、いい成績をおさめて、去年の人たちに負けないようにがんばりたいと思います。

野球部 主将 白川博順

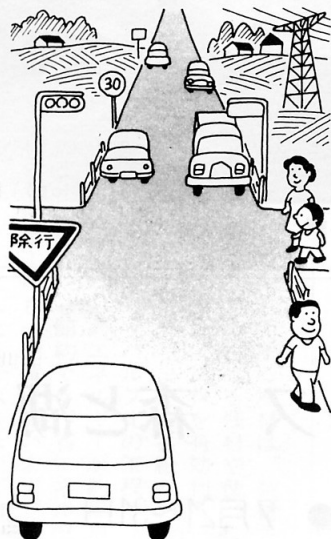


道路をまもる月間

道路にやさしく、
思いやりを！

道路は人が歩き、車が行き交うといった交通のためばかりでなく、電線や電話線、ガス管、上・下水道などの収容スペースとしても、大きな役割を果たしています。

8月は「道路をまもる月間」です。
道路にやさしく、思いやりを！



一日中笑って笑って 平成二年度リハビリり交流会



▲この日一日楽しく笑って

いろいろな要因で後遺症をもちながら、社会復帰のできるようにがんばっている人達。しかしながらどうしても外へ出て運動をする機会が少ない。

病院のリハビリに入院や通院をしている人達が六月十日芦野公園に集まり交流会を開いた。

この交流会は今まで病院や町等で別々に開催していたが、金木病院の理学診療科が中心となって入院患者と金木・中里両町からの外来患者との親睦・交流を図ろうと、合同で交流会を開くようになったもので今年で二回目。

この日は曇り空ながら暑くもなく寒くもない絶好日に恵まれた。交流会に先立ち、三上金木病院院長が「人は長生きしなければならぬ。そのためにはストレスをなくすこと、それには一日一回笑うこと。そして楽しい生活をする。この交流会で入院患者と外来患者との間に親睦の輪ができますように」とあいさつ。

その後金木病院の看護婦や金木・中里のホームヘルパーたちの介添えて公園内を約一時間にわたってクイズやジャンケン大会などをしながら散策した。

引き続き昼食をはさんでいろいろなゲームで遊ぶなど、この日は三上院長の提唱通り『笑い・笑い』の一日だった。

カラオケで あしの園慰問



金木カラオケ愛好会(佐々木悦視会長)一行が六月十二日特別養護老人ホームあしの園を慰問し、入所者に大変喜ばれました。

金木カラオケ愛好会は、町内のカラオケ大好き人間が集まりで現在会員は二十五人。

日頃鍛えた

のどを会員達だけでなく、いろんな方々にきいてもらおうと、今回会員十三人があしの園を訪問したものです。

現在あしの園には県内各地から入所しており、家族と離れているためどうしても閉鎖的になりがちだが、ここでは寮母さんたちの献身的なお世話によるのか入所者に笑顔が多い。

この笑顔に誘われるかのように会員達は美声を響かせ、自己陶醉するかのよう

に身体がゆらぎ、入所者全員から盛んな拍手を受けていた。

「健康や食品にもっと関心をもとう」 移動消費生活センター開催

六月五日保健センターにおいて移動消費生活センターが開催されました。

この移動消費生活センターは、県民の消費の意識の一層の啓発を図るため、青森県消費生活センターと町とが共催で実施しているもので今回は四十人ほどが参加した。

センターの開所にあたり大橋町長が「健康や食品に

関心を持つ大変いい機会であり、消費生活センターを十分に利用して欲しい」とあいさつ。奈良岡勇造所長が消費生活センターができるまでのいきさつやセンターの役割(消費生活に関する相談・苦情等の受付、商品テスト、消費生活研修講座の開講、商品知識等のパネル展示など)についての説明があったあと、桶田幾

代センター技師を講師に食品添加物の種類やその害、食中毒、加工食品を買うときの注意点、長寿と短命食品(食事)との関連性を青森県と沖縄県とを比較しながら講義した。

今回参加した人達は、皆さん家庭の主婦とあって講義の内容にメモを取りながら熱心に耳をかたむけていた。